

打合せ議事録	
会議名	第3回町田市新庁舎建設施工者候補者選考委員会
日時	2009年6月30日(火) 午後5時～7時
場所	町田市役所 本庁舎地下1階 入札室
出席者(役職・敬称略、委員は五十音順)	
施工者選定手法等検討委員会委員	高見澤(委員長)、三井所(職務代理)、大野、梧原、末菅
町田市 政策経営部新庁舎建設課	森、傳田、小寺、浦田、瀧野
総務部工事品質課	近本
財務部営繕課	井上、稲垣
財務部契約課	足立、田中、高木、浪川、小泉、丸山
日建設計コンストラクション・マネジメント(株)	安本、江原
配布資料	
配布者	配布物
町田市	第1回、第2回議事要旨
	スケジュール表
	評価チェックシート
	応募者の経営状態の健全性の判断について
	採点結果表
	質疑回答書
	提案内容のまとめ
議事内容	
発言者	項目・内容
1. 前回までの確認	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回から時間が空いたので、その後の状況について説明する。 ・ 避難安全検証の国土交通大臣認定は、7月早々に認定を頂ける予定。 ・ 建築基準法の計画通知は、7月末までには取得できる予定。 ・ 防衛省の補助金は、近々に交付決定通知を正式に受領できる予定。 ・ 施工者選定は、5/11(月)に告示後、参加資格の確認も終わり、6/25(木)に質疑回答済み。質疑回答の内容は後ほど説明する。 ・ 前回までの確認として、議事録の概要を説明。内容については、最終委員会終了後、ホームページで公開する予定。
2. 落札者決定までのスケジュールについて	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配布資料のスケジュール表に沿って、今後のスケジュール確認を行った。 ・ 8/4(火)に各委員の採点結果を集計、入札金額と合せて評価点を算出し、評価点算出後に評価の報告を市長、副市長に行う予定。 ・ 落札決定者とは速やかに仮契約を結び、9月議会での承認準備に取り掛かる予定。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員のスケジュールとしては、配布資料にある通り、7月の中旬頃に各委員に評価用の資料および採点資料等が送付され、各委員の採点を8/4(火)に持参して頂く。
3. 質疑回答について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑回答は全部で928項目。主な内容としては図面内容に関する事、建設用地の利用条件・工事条件に関するものだった。 ・ 公告文にも記載してある個別質問への回答は、質疑者が個別質問と指定してきたものについては個別回答とした。個別指定されずに質疑されたものは、全体に回答した。 ・ 質疑回答に添付した資料を配布したので合せてご確認願いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑への回答内容は、基本的に営繕課にて用意したのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事に関する質疑は営繕課にて回答した。図面に関する質疑は設計者が回答し、営繕課で全て目を通した上で最終回答を作成した。 ・ 図面に対する質疑では、図面内容の読み込み不足によるもの、工事区分に関するもの等があった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑は何社から提出されたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加業者数等は、契約課以外は知る事が出来ない。 ・ 質疑は入札参加者全てから提出された。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8/4(火)の開札までは、入札参加者も入札金額も、誰も知ることは無いという前提か。

発言者	項目・内容
事務局	・入札は電子入札で行い、データはインターネット上に暗号化されてしまわれており、設定した時間にならないと入札金額を見る事は出来ない仕組みになっている。
委員	・最低制限価格は、いつ頃決定するのか。
事務局	・最低制限価格は公告の時点で決定しており、封をして保管している。 ・価格数値は、合意を得られた算定式によって算出されていて、その算定式は契約課でも一部の人間しか知らない仕組みとなっている。 ・最低制限価格以上か、以下かについては、開札時に自動的に判断される仕組みになっている。
委員	・提案書類はどの程度のボリュームになりそうか。
事務局	・入札参加者からの質疑にもあったが、かなりのボリュームになる様子。基本的に左綴じにして提出する様に回答している。
委員	・その他質疑回答において、ポイントになりそうなものはあるか。
事務局	・強いてあげれば、参考内訳書と図面の食違い、仮設関係については、金銭的に影響が出てくる可能性があるのではないかと思う。 ・質疑回答においては、指定仮設とすることとしているので、工事請負者決定後には調整が必要であると考えている。
委員	・各社の条件が等しく、平等性が保たれているのであれば、良いと思う。
委員	・質疑回答の内容には提案についての記載もあるが、それらも含めて契約図書に添付するのか。
事務局	・特に隠すような内容ではないので、そのまま契約図書に添付する。
委員	・スケジュールに戻るが、入札参加者の資格審査は特に問題なく済んだということか。経営状態を判断する件はどうか。
事務局	・入札参加者の資格審査については、特に問題なく済んだ。 ・経営状態の判断については、通常PFIで使用している基準をもとに、配布の資料「応募者の経営状態の健全性の判断について」を作成した。これをもとに各社の経営状態を診断する。入札参加者から当該資料が提出された時点で、8/4（火）の評価前に行う。
4. 評価方法について	
事務局	・7月中旬に評価資料を送付に合せて、配布資料の「評価チェックシート」及び「提案内容のまとめ」に必要事項を記載の上、送付する。 ・「評価チェックシート」は、各委員にて評価の際に使用していただくメモであり、後々公開するものではない。 ・「提案内容のまとめ」は客観的なデータを横並びに見ることができる資料。提出資料から自動的に評価できる内容は、結果をこの表に記載をしておく予定。 ・本委員会での評価結果は、最終的には配布資料の「採点結果表」にまとめることになる。 ・8/4（火）は、各委員の採点結果を「採点結果表」の一覧表にまとめて内容を確認する予定。
委員	・各委員での評価の際に評価を保留する項目については、-を記載しておき、集計後、評価内容全体を含め午後から議論することとなる。 ・「提案内容のまとめ」は、提出資料から自動的に評価できるものと、それ以外の項目は各委員に先入観を与えないように、客観的に各提案書の要点を整理した内容を記載し、各提案書を見る際の手引書として扱うこととする。 ・「評価チェックシート」は、各委員の手元のメモとして扱う。コメント欄に記載の内容は各委員のメモ書きとして扱い、各委員と集計をする事務局のみが見ることになる。評価は当日事務局が一覧表にまとめる。
事務局	・「提案内容のまとめ」は、評価書類送付の1週間後を目標に送付する。
委員	・「まとめ」はどのように行うのか。
委員	・「まとめ」は、概要を箇条書きにするだけということでは、事務局は提出された各提案について全く感情を入れないで圧縮して箇条書きにするということ。
委員	・配点は、2.0と1.5の間の1.8等をつけるような事は出来ないのか。
事務局	・出来ないと考える。
委員	・チェックシートの評価欄は、点数を手書きで記入するのではなく、各点数に○をつける方法のほうが分かりやすいのではないか。
委員	・評価項目によっては、整理が難しい項目もあると思うが、各委員が評価をする際に各社の提案概要を頭に入れる事が出来る様になり、評価の負担が軽減されるので、出来るだけ項目を整理してもらえると助かる。

発言者	項目・内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「採点結果表」は、各委員の評価等を一覧表にまとめる様になっているが、一覧表にまとめた後、午後から議論を行って、1番から順に評価を決めていくという認識で良いか。 ・7人が同じであった場合はその評価で決定として、バラツキがあった場合には議論していくという事でよいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平均点を記載する欄があるが、各評価項目の最終的な点は、設定した数値に落ち着くこととするのか。それとも平均をとった数値とするのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的な点数は、評価で設定した点数になる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平均点をにらみながら、最終的な点数を決めるということか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平均点の算出はあまり意味が無い様なので、消しても良いのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・参加した企業の点数はあくまでも最後の点数の合計点が参加企業の評価点数になるということか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・配点でも小数点2位以下は出ない設定になっているので合計してもおかしい数字にはならないのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平均点の高い提案の評価が高くなるというわけではないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・集計、各項目の点数の決定方法については、設定した配点に到着ける方法も、平均点をとる方法も、どちらも選択できる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員の評価が0.0と4.0といった極に分かれた場合、平均すると2.0であるが、議論の結果4.0となる場合もある。 ・各項目の委員会としての評価点は議論により合意されることになる。 ・評価点は平均点ではなく、委員会の合意の評価点としてはどうか。 ・当日、会場で採点結果の一覧表を投影しながら評価点を決定した後、入札金額と合わせるのとはどのように行うのか。 ・落札者決定後の落札者への連絡はいつ行うのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容の評価点が決定した後に契約課にて入札金額を確認し、総合評価結果の表に記入することとなる。 ・総合評価の結果が出たら委員会で結果を確認していただく。 ・その後、関係者全員で市長に報告する予定。 ・落札者への連絡は当日行う予定だが、日程的に落札者の決定が夕方になる為、場合によっては翌日になる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書類の提出当日に、提案書類に匿名性処理を行うが、事務局の作業上、特に問題はないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑回答にもあったが、提案書類の中で添付書類を認めているものがあり、基本的には業者名が分かる表現を禁止しているが、写真等の中に止むを得ず表現されているものもあると思われる。そのようなものについても、事務局で黒塗りする等の対応をする予定である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の11番・12番については、事前に事務局で基準を整理しておく必要があるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・或る意味では、無理な提案が入ってきてそれが上位になったとしても、本当に実現性があるのかどうかということが検証出来ない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の時点で実現性を100%保証することは無理ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実際、提案内容は契約に含まれ、履行義務が生じるので、実現性出来ない提案がされる事はないのではないかと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の業者を活用するということではあるが、基本的には契約の自由があるのでそれを縛るということは出来ないと考える。 ・ただし、今回はトータルの大きい面で、地元業者の活用という件についてどのように対応してくれるかというところを提案してもらうわけであるから、具体的に特定の業者と契約するという話を評価するのではなく、大きな考え方を評価することになると考える。 ・技術提案を求めた場合にもある様に、提案内容の採否権限は発注者側にあり、提案内容の全てを契約内容に含められない場合があるのでは。 ・提案したから必ずしも履行義務を発生させるのではなく、協議の上で実現できる内容を契約に付加すれば良いのではないか。

発言者	項目・内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価点が同じ場合の落札者の決定において、この項目の評価が高い方を落札者とするという記載がある。 ・ 仮にこの方法で落札者が決定した場合で、この項目の実現性が無いと判断され契約内容から外すこととなった場合について、フォローする方法を考えておいた方が良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実現方法等については協議にて決定する等の記載をしていくことになり、完全に履行するような内容にはならないのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約に記載する内容としては、地元の特定の業者と契約するといった内容になるのではなく、ある材料や労務については地元から調達するといった内容になることと考えますし、そういう提案が出てくると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 履行の確認を実際に行う場合は、材料の納入まで確認しなければならないので、確認作業は相当な負担となることが予想される。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑回答にもあるが、市内業者の活用と育成については、具体的な業者名は記載しないこととし、具体的な目標値については実現性があるのであれば記載してよいこととし、また下請業者の範囲については二次三次まで含めて良いこととしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終的には、常識的に逸脱しないところに納めていくのだろうと考える。 ・ 建設工事だけでなく多方面の業者も含めた話であるし、その辺りについて議会の理解も受けて調整していただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終の評価結果は公表するとして、今回の総合評価方式による施工者選定に関する報告書の様なものも作成することになるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合評価方式による施工者選定に関して、報告書等何らかの形でまとめたいとは考えている。
5. その他	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は市内業者の活用等、例の無い良い視点の評価項目があるので、本件の総合評価方式について匿名で良いので入札参加者にアンケートをとってもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札結果の公表はいつごろ行うのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札宣言の後になるので、評価結果に署名頂いた後、落札者及び評価結果の公表は、早ければ8/4（火）当日に行う。仮契約は8/5（水）に行う予定。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札者が契約に応じない場合があるのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合評価方式とは言え、入札なので、落札者とは自動的に仮契約しなければならないこととなっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本契約は、議会の承認後ということになるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月議会での承認後となりますので、その最終日になると考える。 ・ 仮契約の内容は、本件について本契約をするという内容のみで、実際の契約内容については仮契約後に内容を作成して議会承認を経て本契約に記載することになる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎建設施工者候補者選考委員会の開催日程について 第4回：2009年8月4日（火） 午前11：00～ 	